

砂防が唯一「現行通り」

信州型事業仕分け終了

県の「信州型事業仕分け」パイロット事業は16日、松本会場（松本合同庁舎）で14事業を仕分けした。信州「食」の魅力向上事業（「当地料理発信事業」と生涯学習情報提供システム事業（信州らんらんネット）の2事業を「不要」、約8割に当たる11事業を「要改善」、1事業は県が「現行通り」行うと結論付け、2日間の仕分け作業を終了した。（佐々木陽一）

「不要」とした事業のうち「じられない」など仕分け人、市町村の提案で対象事業から厳しい意見が相次いだ。になった生涯学習情報提供システム事業は、「必要性が感一の「現行通り」となった

が、事業効果のアピールなどで注文も付いた。会場には初日を上回る225人が傍聴に訪れた。2日間の仕分け（対象計29事業）の結果、引き続き県で

事業を行うものの「改善が必要」が21事業（72・4％）に上り、「不要」は4事業（13・8％）、「国・広域」「市町村」「県（民間委託）」「現行通り」は各1事業。「民間」はなかった。傍聴者は両日で計416人になった。県は今週から仕分け結果と議論の中身の精査を開始し、来年度当初予算案や、国関連の案件は提言などに反映させる。

傍聴した阿部守一知事は作業終了後、「外部の目線、納税者の目線でこもったもな意見を多くいただいた。県民の皆さんに関心を持ってもらう観点でも大きな成果が挙げたのではないかと評価。不要とされた事業については「議論を検証した上で県の方針を固めたい」と述べた。また、来年度の本格実施に向けて、判定人方式の導入や仕分け区分の検討に意欲を示した。

多くの傍聴人が詰め掛けた事業仕分け会場＝松本合同庁舎

事業名	担当部課名	仕分け結果
観光・農政・林務・企画・教育		
信州「食」の魅力向上事業（「当地料理発信事業」）	観光部観光振興課	不要
食の魅力を伝える実践講座事業		県事業で継続も要改善
信州農産物マーケティング戦略推進事業	農政部農業政策課	県事業で継続も要改善
環境にやさしい農業総合対策事業	農政部農業技術課	県事業で継続も要改善
地域森林計画樹立事業	林務部森林政策課	県事業で継続も要改善
長野県デジタルアーカイブ推進事業	企画部情報統計課	県事業で継続も要改善
生涯学習情報提供システム事業（信州らんらんネット）	教育委員会事務局文化財・生涯学習課	不要
商工労働・企画・建設		
技術専門校職業訓練事業	商工労働部人材育成課	県事業で継続も要改善
ジョブカフェ信州運営事業	商工労働部労働雇用課	県事業で継続も要改善
運輸事業振興助成補助事業	企画部交通政策課	県事業で継続も要改善
道路愛護活動促進事業	建設部道路管理課	県事業で継続も要改善
河川愛護・アプトプログラム事業	建設部河川課	県事業で継続も要改善
砂防事業（公共）	建設部砂防課	現行通り
県営住宅管理事業	建設部住宅課	県事業で継続も要改善



信州型事業仕分け D 班会場

見守る傍聴者 熱気あふれ

15、16日に長野、松本の2会場で行われた信州型事業仕分け「パイロット」事業。県政と県民の距離を近づける思いも込めた（阿部知事）事業仕分け会場では、公募の県民委員や県内の有識者たちが仕分け人と県職員が交わすやり取りを400人を超す傍聴者が見守り、仕分け現場は熱気があふれた。松本会場で傍聴した高校非常勤講師の男性（66）＝松本市＝は、「公開の場で非常に緊張感があった。県政が県民に近づくと第一歩になると思う。長野会場では同市の会社員男性が県政への関心が高まるのでありがたい。仕分け人たちは県

「見守る傍聴者 熱気あふれ」



の業務で出ている課題が多い（これ「仕分け」をやったというのかと漏らす職員もいたが、「公開の場で県民にアピールできるし、県民と共通認識を持てる。意義はある」と前向きな声もあった。（杉本哲也）

「見守る傍聴者 熱気あふれ」